

令和 9（2027）年度

学生募集要項

総合型選抜Ⅰ

共創学部・教育学部



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

目 次

入試日程等	1
-------	---

共創学部

1. アドミッション・ポリシー	2
2. 出 願 資 格	3
3. 募 集 人 員	4
4. 入学者選抜方法	4
5. 提出が必要な出願書類等	8
6. 入学準備	9

教育学部

1. アドミッション・ポリシー	10
2. 出 願 資 格	11
3. 募 集 人 員	11
4. 入学者選抜方法	11
5. 提出が必要な出願書類等	13

共通事項

1. 出 願 手 続	14
2. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法	16
3. 受験票の印刷について	17
4. 入学検定料の返還について	18
5. 入学検定料の免除について	18
6. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について	19
7. 合 格 者 発 表	21
8. 入 学 手 続	21
9. 不正行為等の取扱い	22
10. 試験成績の開示	24
11. 個人用PC（ノート型）の必携について	24
12. 個人情報の取扱い	25
13. 修学場所について	26

入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト	27
------------------------	----

九州大学総合型選抜、学校推薦型選抜及び国際入試実施状況（令和 8（2026）年度）	28
---	----

添 付 書 類

提出書類（志望理由書・活動歴報告書）※共創学部のみ

入 試 日 程 等

	総合型選抜Ⅰ（共創学部・教育学部）
願 書 受 付	令和8（2026）年9月7日（月）～9月11日（金）17時まで（必着） ※Web 入力及び入学検定料の支払は9月1日（火）10時から可能です。
受 験 票 の 印 刷	9月18日（金）頃
第 1 次 選 抜	10月12日（月・祝）
第1次選抜結果の発送	11月6日（金）頃
第 2 次 選 抜	11月28日（土）
合 格 者 発 表	12月21日（月）11時頃
入 学 手 続 書 類 発 送	令和9（2027）年2月10日（水）頃
入 学 手 続	2月11日（木）13時～2月17日（水）17時まで 〔所定の期間内に「入学料の納付」，「Web 入学手続」及び「入学手続書類の郵送」を全て完了させてください。詳細は，21 ページ「8. 入学手続（1）入学手続方法」を参照してください。〕

共 創 学 部

※注意

アドミッション・ポリシーとは、大学、学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果を示すものです。

1. アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

国立大学法人九州大学では、本学教育憲章の理念と目的を達成するために、高等学校等における基礎的教科・科目の普遍的履修を基盤とし、大学における総合的な教養教育や専門基礎教育を受け、自ら学ぶ姿勢を身に付け、さらに進んで自ら問いを立て、創造的・批判的に吟味・検討し、他者と協働し、幅広い視野で問題解決にあたる力を持つアクティブ・ラーナーへと成長する学生を求めている。

共創学部では次の資質や能力、態度をもった学生を国内外から積極的に受け入れる。

「主体的学習態度」：課題の検討や課題の将来的な解決に必要となる様々な学知や技能を主体的に探究し、身に付けようとする態度を持っている。

「協働への強い意欲」：背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている。

「批判的思考力」：既存の学知や自らの考えを常に批判的に検討し、その誤りを修正し、より良いものへと改善していこうとする思考態度を持っている。

「国際的視野」：世界の様々な人とともにより良い未来を築くことと、そのために必要となる語学力を磨くことに対する強い意欲を持っている。

2. 求める学生像と学力3要素との関係

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に国際社会で生じている出来事に対する強い関心と、世界を舞台に活動することに対する強い意欲、および、これらを実現するために必要となる語学力。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：物事を多角的・批判的に考え、自らの考えを自分の言葉で人に伝える資質。常に自らを省み、失敗や間違いを認め、そこから学ぼうとする意欲。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性、他者から進んで学ぼうとする態度。世界が直面している様々な課題の将来的な解決に向けて、背景や考え方の異なる様々な人々と進んで協働する姿勢。

3. 入学者選抜方法との関係

共創学部では「知識を問う入試から能力を見極める入試への転換」を掲げ、志願者の能力を複数の観点から見極めるために、次に挙げる4つの方針に基づいて入学者選抜を実施する。

1. 4種類の選抜試験

共創学部が求める学生像の観点から、志願者の能力や態度等を見極めるために、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「国際型入試」の4種類の選抜試験を実施する。また、それぞれの入試類型の中でも複数の観点を組み合わせ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する。

2. 文理共通問題

一学部一学科の学部として、文理共通の試験問題を課す（留学生に対する試験を除く）。理系クラスで学んできた志願者も、文系クラスで学んできた志願者もどちらも解答可能な問題を用意し、いずれかが不利になることのないよう配慮する。

3. 志望理由書

すべての入試類型で「志望理由書」の提出を求め、学部への理解や適性などを確認する。

4. 障害等のある者に対する合理的配慮

共創学部の受験にあたり、受験上の配慮や支援を必要とする場合、入学後に配慮や支援を必要とする場合の事前相談を受け付け、合理的配慮を検討する。

求める学生像と学力3要素と入学者選抜方法との関係については、「選抜方法に関する別表」のとおりである。

選抜方法に関する別表

	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力等の能力	③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	調査書 活動歴報告書 小論文	志望理由書 小論文 討論 面接	調査書 志望理由書 活動歴報告書 討論 面接
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 活動歴報告書 大学入学共通テスト	推薦書 志望理由書 活動歴報告書 プレゼンテーション 面接	推薦書 調査書 志望理由書 プレゼンテーション 面接
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	志望理由書 個別学力検査 小論文	調査書 志望理由書 小論文
国際型入試	個別学力検査または 日本留学試験等	個別学力検査または 日本留学試験等 志望理由書 面接	志望理由書 面接

本学部への入学を希望する者は、「1. アドミッション・ポリシー」をよく読み、本学部の理念と教育内容をしっかりと理解した上で応募していただくことが望まれます。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者で、本学部の趣旨を理解し、本学へ入学し幅広く学ぶことを第1志望とする者としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）にお問い合わせください。

(注意)

- (1) 本学部の趣旨から、専門を決めて志願する本学の他学部で実施される総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、学校推薦型選抜及び国際入試との併願は認めません。
- (2) 同じ年度に行われる本学部の総合型選抜と学校推薦型選抜の併願は認めません。
- (3) 本学部の総合型選抜に出願した場合でも、本学を含む国立大学の一般選抜及び本学部の国際型入試に出願することができます。別途出願手続きを行ってください。

3. 募集人員

15人（入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜前期日程等の募集人員に加えます。）

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

提出された調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書・活動歴報告書及び講義に関する小論文の総合評価により選抜を行います。

ア. 講義に関する小論文の内容

九州大学伊都キャンパスにおいて2つの講義（各約50分）を受講して、各講義の後に休憩（各約10分）をはさみ、小論文を作成（各約100分）するものです。講義はそれぞれ文系の内容を主とするものと理系の内容を主とするものとなります。小論文は、英文を提示して出題することがあります。また、一部に英語による記述や数的処理を求める場合があります。

小論文では、

- ・ 講義内容を正確に理解できているか
- ・ 講義で得た知識を日本語、英語などを用いて的確に表現できているか
- ・ 講義で得た知識を応用・発展させて考えることができているか
- ・ 講義内容を整理し、課題に対する自分の考えを論理的に記述できているか

などを評価します。

イ. 講義に関する小論文の実施方法

月 日	時 間	内 容	場 所
10月12日(月・祝)	9:00	集 合・全体説明	※伊都キャンパス センター2号館
	9:30～12:10	講義1・小論文1	当日、本人に通知します。
	13:15～15:55	講義2・小論文2	

※詳細は、令和8（2026）年9月18日（金）頃に本学 Web サイト上でお知らせします。

(注意)

- ・ 試験当日は、受験票を必ず持参してください。

・遅刻による試験室への入室限度時刻は、予め定められた試験（講義1）開始時刻から30分以内です。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により遅刻したものは、試験監督者にその旨申し出てください。

【持ち込み可能物品】

指定された物品以外のものを試験時間中（講義1及び講義2で、それぞれ設けられる休憩時間を含む）、机上に置いたり、手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。

※それぞれの試験開始前に持ち込み物品の確認作業を行います。

試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・共創学部受験票
- ・黒鉛筆（H、F、HBに限る）、鉛筆キャップ
- ・シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る）
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可）
- ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）
- ・電子式でない英和辞書1冊（外箱から取り出す）

※辞書の付箋紙は外し、メモ等の書き込みは必ず消してください。辞書に付箋を添付したり書き込みがある場合、メモ用紙を挟み込んでいる場合は、不正行為とみなされる場合があります。

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

なお、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

※病気・負傷や障害等の為、試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は、受験上の配慮の相談を申請することもできます。

※英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

（注意）

- ・試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

○定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
○携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

※これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

特に、通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります）。

※イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。

・試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室への入室前までに、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。

・時計の貸し出しは行いません。

・試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。

・耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

・講義は250名程度収容の大きな教室で行われます。眼鏡等の準備を忘れないようにしてください。

- ・弁当は各自，持参してください。

ウ．第1次選抜の合格者は，募集人員の2倍程度とします。

エ．第1次選抜の結果については，令和8（2026）年11月6日（金）頃に通知書を郵便で発送します。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して，討論（約180分，考慮時間等を含む）及び面接（1人約25分）を課し（九州大学伊都キャンパスにて実施），その上で，第1次選抜の結果と合わせて総合評価により選抜を行います。

ア．討論・面接の内容

討論は，受験者をグループ（1グループ5名程度）に分け，提示された論題について討論を行い，各自で報告書を作成するものです。論題に関連する資料は討論開始前に配布します。討論では，論題に対するグループで出した結論の内容ではなく，討論の過程を評価します。特に，

- ・資料から討論に必要な情報を収集し，討論に活用できているか
- ・自身の意見を論理的に説明できているか，発言に説得力があるか
- ・適切なタイミングで簡潔かつ的確な発言や応答ができているか
- ・グループとして最善の成果が得られるよう行動できているか
- ・論点や議論の結果が整理された報告書が作成できているか

などを評価します。

面接では，主に志望理由書・活動歴報告書および調査書又は調査書に代わる書類の内容に基づき質疑応答を行います。面接は主に日本語で行いますが，一部の質疑応答は英語で行います。面接では，

- ・学習を含むこれまでの活動内容
- ・興味のある課題に対する関心の広さ・深さ
- ・今後の学習内容や学習意欲・熱意
- ・共創学部生としての適性や可能性

などを評価するほか，自身の考えをわかりやすく伝えるコミュニケーション能力や論理的思考も評価します。

イ．討論・面接の実施方法

月 日	時 間	内 容	場 所
11月28日 (土)	9:00	集合・全体説明	伊都キャンパス センターゾーン
	9:30～13:00	討論 グループに分かれ，提示された論題を討論し，その後各自で報告書を作成します。	当日，本人に通知します。
	14:00～17:10	面接 順番に面接（1人約25分）が行われます。	

(注意)

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- ・試験の性質上、討論では遅刻者の取り扱いが第一次選抜とは異なります。
- ・各グループに分かれ討論を開始する 9:30 までに試験室に入室していない場合は、受験することができないので十分注意してください。
- ・試験（討論）当日に発熱等があり、体調不良となった場合も同様に参加できないことがあるのでご了承ください。

【持ち込み可能物品】

指定された物品以外のものを試験時間中（討論と討論報告書作成の間に設けられる休憩時間を含む）、机上に置いたり、手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。

※それぞれの試験開始前に持ち込み物品の確認作業を行います。

事前説明時	○共創学部受験票 ○黒鉛筆（H，F，HBに限る），鉛筆キャップ ○シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可，黒い芯に限る） ○プラスチック製の消しゴム ○鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可） ○時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可） ○眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの） ○当日配布する以下の資料一式 ①「討論」と「面接」の『グループ分け表』 ②「教室配置図」 なお，座布団，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む）の使用を希望する場合は，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。 ※病気・負傷や障害等の為，試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は，受験上の配慮の相談を申請することもできます。 ※英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。
討論・討論報告書作成時	○筆記用具（黒鉛筆，鉛筆キャップ，シャープペンシル，プラスチック製の消しゴム，鉛筆削り） ○時計 ○眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー ○当日配布する以下の資料一式 ①「討論」と「面接」の『グループ分け表』 ②「教室配置図」 ※水筒およびペットボトル（いずれも中身は水に限ります）の持ち込みは可能です。ペットボトルのラベルは外してください。試験室内では，考慮時間及び討論報告書作成時を除き，水を飲んでも構いません。 これ以外の所持品を使用又は置いている場合には，解答を一時中断させて，試験終了まで預かることがあります。

面接待機時	○時計 ○眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー ○水筒・ペットボトル（面接室では飲めません） ※持参した文庫本または新書（合計2冊まで）を自由に読んでかまいません。
面接時	持ち込める物品はありません。

（注意）

- ・試験時間中に、次のものを使用してはいけません。
- 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
- ※これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っている不正行為となることがあります。
- 特に、通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります）。
- ※イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。
- ・試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室への入室前までに、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。
- ・時計の貸し出しは行いません。
- ・試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。
- ・耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。
- ・討論、面接の説明は60名程度収容の大きな教室で行われます。眼鏡等の準備を忘れないようにしてください。
- ・弁当は各自、持参してください。

(3) 合否判定の基準

- ア．第1次選抜では、①講義に関する小論文、②提出書類（調査書又は調査書に代わる書類、志望理由書・活動歴報告書）を評価し、各評価を合わせて3段階で総合評価します。
- イ．第2次選抜では、討論（報告書含む）、面接をそれぞれ評価し、第1次選抜の評価と合わせて3段階で総合評価します。

5. 提出が必要な書類等

※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での活動、大会や資格・検定試験等の結果を記載できない場合、その活動に関する努力のプロセスを記載してください。

ア．調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し、厳封したものを提出してください。なお、調査書を提出できない者については、次の書類を提出してください。

① 高等学校卒業程度認定試験合格者

合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書

② 出願資格に該当する者のうち上記①以外の者

修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書

また、本学において個別の入学資格審査を受けた者は、本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。

上記書類を提出できない者は事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

イ. 志望理由書・活動歴報告書

本学 Web サイト募集要項画面に掲載の用紙を両面印刷し、志願者本人が自らの考えを基に作成し、自筆で作成したものを提出してください。

活動歴については、共創学部の志望理由に関係ある事項に限定して記載してください。英語能力試験の受験実績のある者は、志望理由書・活動歴報告書の添付資料として、英語能力試験（実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限る）、TEAP（4 技能）、ケンブリッジ英語検定（リンガスキルは除く）等）の成績（願書受付期間の最終日より過去 2 年以内に受験したものの原本）を提出してください。

※自宅で受験するタイプの英語能力試験の成績の提出は認めません。また、IELTS の One Skill Retake の提出は認めません。

※TOEFL[iBT テスト]のスコアを提出する場合は、本学への直送手続（ETS アカウント（My TOEFL Home）から九州大学の DI コード「0411」を選択）を行ってください。

＊上記の提出が必要な出願書類等のうち、志望理由書・活動歴報告書は、本学 Web サイトの「入試・入学」→「学部入試」→「大学案内・入学者選抜概要・募集要項」からダウンロードしてください。必ず当該年度の様式を使用してください。

＊志望理由書・活動歴報告書は、必ず志願者本人が自筆にて作成してください。志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学許可を取り消すことがあります。

＊提出された書類の返却には応じませんので、ご注意ください。ただし、英語能力試験の成績表（原本）は、九州大学学務部入試課で確認後返却しますので、返送先の住所・氏名を記入し、簡易書留郵便の郵送にかかる金額分の切手を貼った返信用封筒を同封の上、提出してください。普通郵便の郵送にかかる金額分の切手の貼付しかない場合、普通郵便で返却しますが、郵便物の追跡等ができませんので、簡易書留郵便を推奨します。

6. 入学準備

本学部の総合型選抜に合格した者には、入学までの期間の勉強の仕方や心構え等準備いただきたい内容をまとめた「入学までの心構え」をお送りします。この「入学までの心構え」を必ず読んで、自身に必要なものを考え、入学の準備をしてください。この詳細は、合格通知書とともに送付します。

教 育 学 部

1. アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

教育学部は人間の発達と成長を軸とした総合的な人間科学を学ぶところであり、人間に高い関心を持っていることが大切な要件です。入学後にも、人間に関係する社会科学、人文科学、自然科学を学び続けるために、次のような特徴を持った学生を求めています。

- ① 人間の教育や成長について学問的観点から科学的に考えることに興味と意欲があること。
- ② いろいろな観点（ものの見方や考え方、価値観）や見地（異文化や国際的視点）に立って、多面的に議論し、考察ができること。
- ③ 基礎的な学力を十分に持っていること。そして入学後も、専門的な知識や能力の習得に、着実に取り組めること。
- ④ 知識を深め、視野を広げ、事実をもとに自分の着想と論点を構築し、まとめ、発表することを継続的にできること。

2. 求める学生像と学力3要素との関連

- ① 知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。主要科目全般の総合的な学力。
- ② 思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。主体的に課題を設定し、社会における様々な事象に関心を持ち、それらについて明快な議論を構成して、他者と能動的にコミュニケーションができる能力。
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する寛容性。異文化および異なる社会への視点と多面的な理解を示す能力。

3. 入学者選抜方法との関係

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 小論文	プレゼンテーション 資料作成	個人面接 プレゼンテーション 質疑応答
国際入試	調査書 (日本留学試験) TOEFL 等の外国語試験	プレゼンテーション	志望理由書 個人面接 プレゼンテーション 質疑応答

2. 出願資格

次のいずれかの資格に該当し、本学教育学部を第1志望とする者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3（2021）年4月以降に卒業した者及び令和9（2027）年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和3（2021）年4月以降に修了した者及び令和9（2027）年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和3（2021）年4月以降にこれに該当するもの及び令和9（2027）年3月までにこれに該当する見込みのもの

なお、出願資格について不明な点がある場合は、事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）にお問い合わせください。

（注意）

- (1) 本選抜の趣旨から、本学の他の総合型選抜（次世代研究者発掘入試を含む）、国際入試（教育学部）及び学校推薦型選抜との併願は認めません。
- (2) 本学部の総合型選抜に出願した場合でも、本学部の一般選抜に出願することができます。別途出願手続きを行ってください。
- (3) 本学部の総合型選抜に出願した場合でも、本学を含む国立大学の一般選抜に出願することができます。

3. 募集人員

7人 （注）入学手続き者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。

(1) 第1次選抜

ア. ①小論文試験, ②提出された調査書又は調査書に代わる書類の総合評価により選抜を行います。

イ. 小論文試験の内容

与えられた資料（英文や数値データ等を含む場合もある）に関する設問によって構成されます。

小論文では、人間に対する深い関心と理解力、洞察力、思考力、表現力を評価します。

ウ. 実施方法

期 日	時 間	場 所
10 月 12 日（月・祝）	9:00～12:00	伊都キャンパス イーストゾーン講義室（※）

試験当日は，受験票を必ず持参の上，所定の入室時刻（8 時 35 分）までに試験室に入室してください。※詳細は，令和 8（2026）年 9 月 18 日（金）頃に本学 Web サイト上でお知らせします。

（注意）

遅刻による試験室への入室限度時刻は，予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお，交通機関の事故またはやむを得ない事由により遅刻した者は，試験監督者に申し出てください。

エ. 第 1 次選抜の合格者は，募集人員の 2.5 倍以内とします。

オ. 第 1 次選抜の結果については，令和 8（2026）年 11 月 6 日（金）頃に受験者あてに通知書を郵便で発送します。

(2) 第 2 次選抜

ア. 選抜方法

- ・第 1 次選抜の合格者に対し，①プレゼンテーション，②その内容等に関する面接試験の総合評価により選抜を行います。
- ・着想力，創造性，論理性，批判的能力，表現力等を評価します。

イ. プレゼンテーション

- ・試験当日に提示される課題について，3 時間程度で発表内容をまとめ，パネルを作成します。
- ・そのパネルにより，内容を 10 分程度で発表します。発表は個人別で行います。

ウ. 面接試験

- ・面接試験の時間は，受験者 1 人につき 10 分間です。

エ. 実施日時及び実施方法

期 日	時 間	実施方法
11 月 28 日（土）	9:00～17:00 頃	当日，各人に通知します。

- ・集合時刻及び集合場所は第 1 次選抜合格通知の際に指定します。合格者は受験票及び第 1 次選抜合格通知書を持参の上，指定された時刻に指定された場所に集合してください。
- ・試験時間中（9:00～17:00 頃）は，各自の面接試験終了まで外出できませんので各自必ず昼食をご用意ください。
- ・遅刻による試験室への入室制限時刻は，予め定められた試験開始時刻から 30 分以内です。なお，交通機関の事故またはやむを得ない事由により遅刻した者は，試験監督者に申し出てください。

(3) 合否判定の基準

ア. 第1次選抜

①小論文試験，②提出された調査書又は調査書に代わる書類について，それぞれ評価し，各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。

イ. 第2次選抜

プレゼンテーションと面接試験を合わせて評価し，第1次選抜の評価を加えて3段階（ABC）で総合評価します。

5. 提出が必要な出願書類等

・調査書

在学又は出身学校長が文部科学省で定めた様式により当該年度に作成し，厳封したものを提出してください。なお，調査書を提出できない者は，次の書類を提出してください。

① 高等学校卒業程度認定試験合格者

合格成績証明書及び免除科目がある場合は学校長が発行した当該科目の成績証明書

② 出願資格に該当する者のうち上記①以外の者

修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書

また，本学において個別の入学資格審査を受けた者は，本学が交付した「九州大学受験資格認定書（写）」を添付してください。

上記書類を提出できない者は，事前に九州大学学務部入試課入試企画・広報係にお問い合わせください。

各 学 部 共 通 事 項

1. 出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ① インターネットにより、 <u>志望情報等を入力</u> する。 | } ①～④の
すべての手続きを行います。 |
| ② <u>証明写真をアップロード</u> する。 | |
| ③ <u>入学検定料を支払う</u> 。 | |
| ④ 調査書等の <u>提出に必要な出願書類等を郵送</u> する。 | |

〈 注 意 〉

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の期間内に必要な出願書類等が到着するように、書留・速達郵便（日本国外から出願する場合は、EMS等の最速の国際郵便）で郵送する必要があります。

※ 障害がある等でインターネット出願の利用が難しい方は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL：092-802-2006）へ相談してください。

(2) 出願期間等

事 項	期 間
Web 入力及び入学検定料の支払 (注 1)	令和 8 (2026) 年 9 月 1 日 (火) 10 時から 9 月 11 日 (金) 17 時まで
【出願受付期間】 「提出が必要な出願書類等」の郵送 (注 2) (注 3) (注 4)	令和 8 (2026) 年 9 月 7 日 (月) から 9 月 11 日 (金) 17 時まで (必着)

注意事項

- (注 1) 「Web 入力及び入学検定料の支払」期間内に入力及び支払手続を行ってください。なお、出願登録完了後は、ご自身で入力事項の変更はできません。
- (注 2) 「提出が必要な出願書類等」の郵送は郵便事情を考慮し、期間内に必着するように手続きしてください。
- (注 3) 「提出が必要な出願書類等」の提出方法は原則郵送となります。
ただし、出願期間最終日（郵送では必着できない場合）のみ、9時から17時まで、九州大学学務部入試課への持参が可能です。
- (注 4) 「提出が必要な出願書類等」の受領確認は日本郵便の郵便追跡サービスサイトでご確認ください。郵便追跡サービスサイトでは書類の郵送時に郵便局から交付された「受領証」にあるお問い合わせ番号（引受番号）を利用して確認することができます。
- (注 5) 出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」は、入学手続時にも使用しますので、出願登録完了後もメモを保管してください。

(3) Web 入力の方法

必要な情報について、インターネットを利用して入力します。

インターネット出願のページへは、九州大学 Web サイトからアクセスできます。

アクセスページ

九州大学 Web サイト

トップページ > 入試・入学 > 学部入試 > インターネット出願

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/internet/>



出願登録方法は、以下のサイトにて説明しておりますので、出願前にご確認ください。

九州大学 インターネット出願ガイダンスサイト

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyushu-u/how/>



○インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問い合わせてください。

志願受付操作サポート窓口	受付期間 9月1日（火）～9月11日（金） 9時から20時まで	TEL 0120-752-257
--------------	---------------------------------------	------------------

(4) 入学検定料支払の方法

入学検定料：17,000 円

詳しい支払方法については、出願登録完了後の「入学検定料のお支払い」ページにより確認してください。

入学検定料の他に別途必要なサービス利用料は、志願者負担となります。

① クレジットカード 日本~~国内~~／~~国外~~で利用可能

出願登録完了後、入学検定料のお支払サイトにより、決済を完了させてください。右のクレジットカードで支払うことができます。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。支払方法は一括払いのみです。

クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

② コンビニエンスストア 日本~~国内~~のみ利用可能

現金での支払となります。

名称
VISA
MasterCard
JCB
AMERICAN EXPRESS
Diners Club Card

ローソン、ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払
ファミリーマート	「マルチコピー機（旧 Fami ポート端末）」で手続後、レジにて現金で支払
デイリーヤマザキ	店頭レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払
セイコーマート	店頭レジにて現金で支払

セブン-イレブン	レジで「払込票番号」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払（※） （※）マルチコピー機は使用しません
----------	---

※ 最新情報は、インターネット出願 Web サイトで確認してください。

③ 金融機関 ATM【Pay-easy】 日本国内のみ利用可能

支払可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。

ATM で「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。



④ ネットバンキング 日本国内のみ利用可能

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、PayPay 銀行、au じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続きしてください。

2. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

①提出封筒の準備

(ア) 必ず、角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A 4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形 3 号封筒（横 12cm×縦 23.5cm）は使用できません。



長形 3 号封筒



角形 2 号封筒

(イ) 出願登録完了画面から（図 1）の「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、(ア)の封筒の表（宛名）面に貼付してください。

封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが、「宛名ラベル」を印刷することができない場合は、（図 2）の【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本を直接、封筒の表（宛名）面に記載してください。

書留・速達の表示も縦書き・赤字で記入（又は郵便局窓口で押印を依頼）してください。

（図 1）【封筒貼付用宛名ラベル】の印刷見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
書 留 ・ 速 達	九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中
	出願番号：***** 入試制度：総合型選抜 I 出願学部・学科等：〇〇学部
	〒〇〇〇-〇〇 △△県□□市◇◇町 1-2-3
	☆☆ ☆☆ 

（図 2）【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合】の記載見本

速 達	
切手	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
書 留 ・ 速 達	九州大学学務部入試課 入試企画・広報係 御中
	出願番号：***** 入試制度：総合型選抜 I 出願学部・学科等：〇〇学部
	志願者情報：〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県□□市◇◇町 1-2-3
	☆☆ ☆☆

② 提出が必要な出願書類等の封入

8 ページ及び 13 ページ記載の**提出が必要な出願書類等**を確認し、必要な書類等を封入してください。

③ 速達・書留郵便で送付

14 ページ記載の**1. (2) 出願期間等**の出願受付期間内に必ず到着するよう、**書留・速達**郵便で郵送してください。

日本国外からの出願の場合は、EMS (Express Mail Service) 等の最速の国際郵便で郵送してください。

※出願に関する注意事項

ア. 提出が必要な出願書類等に不備があるものは受理しません。

志願情報、出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

イ. 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却及び変更並びに住所・連絡先以外の情報の変更は認めません。

ウ. 不明な点は、出願前に九州大学学務部入試課へ相談してください。

照会先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係

T E L : 092-802-2006

3. 受験票の印刷について

- ① 受験票は、総合型選抜の場合は令和 8 (2026) 年 9 月 18 日 (金) 頃、インターネット出願の出願内容確認画面より印刷可能となります。受験票の印刷はパソコンから行うことを推奨します。

九州大学 出願内容確認画面

<https://exam-entry.52school.com/kyushu-u/mypage>



- ② 試験当日 (第 1 次選抜 : 令和 8 (2026) 年 10 月 12 日 (月・祝) と第 2 次選抜 : 11 月 28 日 (土)) は、**本学の総合型選抜受験票を必ず持参してください。**
- ③ 本学の総合型選抜受験票は、試験成績の開示等の際に必要となるので必ず保管しておいてください。
- ④ その他の注意点や試験会場の詳細については、本学 Web サイトに掲載しますので、事前に各自で必ず確認してください。なお、試験当日に監督者から注意事項の変更や追加の指示があった場合は、その指示に従ってください。

九州大学 Web サイト

トップページ > NEWS > 入試情報 > お知らせ

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admissions/search?category=1>



4. 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ① 4 ページ及び 11 ページの「4. 入学者選抜方法」による第 1 次選抜を実施した結果、その不合格者に対して、13,000 円を返還します。
- ② 入学検定料納付後、提出が必要な出願書類等を送付しなかった場合及び出願書類等を受理できなかった場合は、全額返還します。

上記①に該当する場合は、第 1 次選抜結果通知の際に「返還請求書」等を送付しますので、書類作成の上、令和 9（2027）年 1 月 29 日（金）までに手続を行ってください。

上記②に該当する場合は、九州大学学務部入試課入試企画・広報係（TEL 092-802-2006）へお問い合わせください。

5. 入学検定料の免除について

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

ア 東日本大震災、熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年台風第 19 号、令和 2 年 7 月豪雨及び令和 6 年能登半島地震に被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ㊦ 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、準半壊または準半壊に至らない損壊（一部損壊）と判断された場合、流失等した場合
- ㊧ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

イ 東日本大震災において、居住地が福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域（計画的避難区域を含む）に指定された者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする場合は、あらかじめ九州大学学務部入試課入試企画・広報係へ E-Mail または電話で連絡し、該当すると判断された者は、「入学検定料免除申請書」を九州大学 Web サイト（<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/exemption>）からダウンロードのうえ、次のうちいずれかの証明書等を添えて「提出が必要な出願書類等」とともに提出してください。

なお、申請にあたっては、次の証明書が必要になります。

- ・ ①ア㊦に該当する場合 り災証明書
- ・ ①ア㊧に該当する場合 死亡又は行方不明を証明する書類
- ・ ①イに該当する場合 被災証明書

6. 障害等のある入学志願者の合理的配慮について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けています。

日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の利用を希望する場合も、この相談の手続を行ってください。

なお、20 ページ(3)に示すものは、この相談の手続は不要です。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、相談の内容に応じて、次の期日までに相談してください。なお、期日を過ぎてから相談が必要となった場合は、九州大学学務部入試課（092-802-2006）へ連絡してください。

①「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合

令和8（2026）年9月1日（火）まで

② 上記①以外の配慮を希望する場合

令和8（2026）年9月9日（水）まで

※ 上記期日までに相談の無い場合や相談の内容によっては配慮が講じられない場合がありますので十分注意してください。

区 分	対象となる者	筆記試験における受験上の配慮の一例
① 視覚に関する配慮	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満、もしくは視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答 - 拡大文字問題冊子の配付 - 試験時間の延長（1.3 倍） - 拡大鏡等の持参使用 - 窓側の明るい座席を指定 - 照明器具の持参使用又は試験室側での準備 - 色覚異常に配慮した試験問題の作成
② 聴覚に関する配慮	- 両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 手話通訳士等の配置 - 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用
③ 肢体不自由に関する配慮	- 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障害が著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- 代筆解答 - 試験時間の延長（1.3 倍） - 試験室入口までの付添者の同伴 - 介助者の配置 1 階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖、特製机・椅子の持参使用又は試験場側での準備 - 試験場への乗用車での入構
④ 病弱に関する配慮	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1 階又はエレベーターが利用可能な試験室に設定 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 別室の設定

⑤発達障害に関する配慮	・学習障害, 注意欠陥・多動症(注意欠陥多動性障害), 自閉スペクトラム症(自閉症, アスペルガー症候群, その他の広汎性発達障害等)等のため配慮を必要とする者	・試験時間の延長(1.3倍) ・拡大文字問題冊子の配付 ・注意事項等の文書による伝達 ・別室の設定
⑥その他	・①～⑤の区分以外の者で特別な配慮(面接時等での配慮を含む)を必要とする者	・トイレに近い試験室で受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定 等

(1) 相談の方法

「九州大学入学試験における合理的配慮に関する事前相談申請書」及び「診断書」を九州大学 Web サイト (<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/faculty/disabilities/>) からダウンロードのうえ、障害者手帳取得者は、その写しも添えて相談の申請をしてください。

診断書には、診断名、初診日付と最終診察日、具体的な症状とその経過、日常生活上特に修学上の支障の程度、試験の際に想定される問題と必要と考える支援について記載してください。

また、大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、独立行政法人大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。

(2) 連絡先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係
TEL : 092-802-2006
〒819-0395 福岡市西区元岡 744

(3) 受験上の配慮を相談(申請)せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮の相談をせずに使用できます。

① サポーター, テーピング, 包帯, 湿布, ギプス, 眼帯, コルセット

※試験時間中に着脱する場合は、監督者に申し出て許可を得てください。

② 白杖

※白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は相談の手続が必要です。

以下の③については、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

③ 座椅子, クッション, タオル, ひざ掛け, 手袋(多汗症用を含む)

※病気・負傷や障害等の為に試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は、受験上の配慮の相談を申請することもできます。

※英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

7. 合格者発表

最終合格者については、**令和 8 (2026) 年 12 月 21 日 (月) 11 時頃**、受験番号を伊都キャンパスセンターゾーンビッグさんど前掲示板に掲示するとともに、同日に合格通知書を出願時に入力された住所あてに郵便で発送します。

また、合格者の受験番号を同日 12 時頃九州大学合格者発表専用 Web サイト (<https://goukaku.jimu.kyushu-u.ac.jp/>) に掲載します。これは、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者の発表は、前述のとおりです。



電話による可否の問い合わせには応じません。

この入試では、当該学部のアドミッション・ポリシーに基づいて受験者の資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

【注意】合格発表後、SNS 等で自身の合格を公開する行為にはリスクが伴う場合があります。勧誘などで悪用される可能性があるため、充分にご注意ください。

8. 入学手続

入学手続に関する書類については、**令和 9 (2027) 年 2 月 10 日 (水) 頃**、合格者に対して発送しますが、書類の到着前でも入学手続は行えます。入学手続は、次のとおり行ってください。

(1) 入学手続方法

所定の期間内 (**令和 9 (2027) 年 2 月 11 日 (木) 13 時から 2 月 17 日 (水) 17 時まで**) に「①入学料の納付」及び「②Web 入学手続」を全て完了させてください。

※入学手続は、令和 9 (2027) 年 2 月 17 日 (水) 17 時をもって締切ります。

(2) 留意事項

- ① 総合型選抜の合格者が本学に入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。
- ② 総合型選抜の合格者が、特別な事情により入学を辞退しようとするときは、令和 9 (2027) 年 2 月 17 日 (水) 17 時まで、「入学辞退届（様式任意）」を提出してください。指定の日時までに入學辞退の手続を行わない場合または入学辞退届が受理されなかった場合は、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験しても合格者とはなり得ません。

（手続及び連絡先：九州大学学務部入試課入試企画・広報係 TEL：092-802-2006）

※公立大学協会 Web サイト（https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050）参照

- ③ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 授業料は、入学後に納付することになります。
- ⑤ Web 入学手続ログイン時に、出願登録完了時に表示される「セキュリティコード」の入力が必要です。

[参考]

① 入学料及び授業料について

入学料 282,000 円（予定）[入学手続き時に納付]

授業料（前期分）267,900 円 [年額 535,800 円]（予定）[入学後に納付]

（注）上記の納入金額は予定額であり，入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には，改定時から新たな入学料及び授業料が適用されます。

② 入学料免除・入学料徴収猶予（多子世帯無償化含む）について

本学では，国の「高等教育の修学支援制度（多子世帯無償化含む）」による入学料・授業料免除制度（以下，「新制度」という。）を実施しています。なお，新制度の応募資格外の方は「特別な事情」がある場合に限り，大学独自制度による免除・徴収猶予を実施します。

新制度は，学部生（留学生を除く）を対象に，学生本人からの申請に基づき選考の上，日本学生支援機構の給付奨学金の支給と入学料・授業料の減免が行われます。多子世帯向けの授業料等減免のみの希望者も，給付奨学金の申請が必要です。申請者は，減免結果が出るまで入学料等が徴収猶予されます。

1. 応募資格：日本学生支援機構の給付奨学金の申請者（予約採用候補者，在学採用申請者）
（新制度の申請要件等の詳細は，日本学生支援機構の HP をご確認ください。）

2. 免除額：入学料(282,000 円)・授業料(535,800 円)の全額，2/3 額免除，1/3 額免除
（給付奨学金の支援区分に応じて免除額が決定，多子世帯区分は全額免除）

3. 申請時期・方法 以下①②の両方の申請を完了すること。

①【入学前・入学手続き時】本学への免除申請（事前申請）

※免除申請希望者は入学手続き時に入学料の納付はしないでください。

②【入学後・4月上旬】日本学生支援機構の給付奨学金（学費免除含む。）の申請（本申請）

②-1 高校時「予約採用」候補者：入学後速やかに「進学届」の提出を完了。又は

②-2 予約採用候補者以外：入学後4月上旬に「在学採用（春）」の申請を完了。

4. 本学からの選考結果通知：7月下旬頃

※2026 年度から免除制度が改正されています。詳しくは，九州大学 Web サイト及び入学ガイドブック（2 月頃 Web サイト掲載）を参照してください。

9. 不正行為等の取扱い

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし，試験時の説明で認められている行為については，不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を命じられ，それ以降の受験はできなくなります。また，受験した総合型選抜の成績を無効にします。この場合，既納の入学検定料は返還しません。

共通事項

ア. インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより，登録した情報をもとに作成される志願票，照合票に虚偽の内容があった場合や解答紙等へ故意に虚偽の記入（解答紙に本人以外の受験番号を記入することなど。）をすること。

- イ. 志願者本人が作成する書類について、志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）が作成したもの、または剽窃等を行ったものを提出すること。
- ウ. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- エ. 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- オ. 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- カ. 解答紙を試験室から持ち出すこと。
- キ. 「解答始め。」の指示前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ク. 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、I Cレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。
- ※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります）。
- ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（19 ページ）が必要です。）
- ケ. 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- コ. 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 不正行為が合格後に判明した場合、合格を取り消します。この場合、入学検定料、入学料及び納入済みの授業料等は返還しません。

なお、当該不正行為が本学の入学者選抜の実施運営を著しく妨げたと判断した場合、警察に被害届を提出する場合があります。

- ③ 上記①以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①及び②と同様です。

ア. 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や電子機器類（電子辞書、I Cレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）、教科書、参考書、辞書類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていないければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります。（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）

イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

- ウ. 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- エ. 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 試験成績の開示

令和 9（2027）年度総合型選抜の試験成績について、受験者本人からの請求に限り、「第 1 次選抜」及び「第 2 次選抜」の成績（ABC 評価）を郵送により開示します。

① 申請に必要なもの

- (1) 令和 9（2027）年度九州大学総合型選抜成績開示申請書

※申請書は、令和 9（2027）年 4 月下旬頃より、本学 Web サイト
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/>) からダウンロードできます。

- (2) 令和 9（2027）年度九州大学総合型選抜の受験票

※総合型選抜の受験票がない場合は、お問い合わせください。

- (3) 書留料金所定の切手を貼った返信用封筒（長形 3 号）

※個人成績を記した書類を郵送するためのものです。必ず受験した本人宛にしてください。

② 申請に際しての注意事項

- (1) 申請は本学学務部入試課へ郵送又は本学学務部入試課窓口での申請も可能です。

申請窓口：九州大学学務部入試課

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

- (2) 申請受付期間は、土・日・祝日を除く令和 9（2027）年 5 月 10 日（月）～ 6 月 4 日（金）です。本学窓口での申請の受付は、9 時から 17 時まで（必着）です。

- (3) 申請は、必ず本人が行ってください。代理人への開示は行いません。

- (4) 郵送による申請の場合、封筒の表には「総合型選抜成績開示申請」と朱書きしてください。

- (5) 総合型選抜試験成績の開示は、申請受付後、3 週間以内に送付します。

窓口での申請の場合は、後日開示となります。

11. 個人用 PC（ノート型）の必携について

大学では、授業中に PC を使用するのはもちろん、自宅やその他の場所で PC を利用することになります。例えば、学習を進める上で必要な授業内容を記したシラバスや授業の教材、レポート課題・提出期限などの情報、また履修登録や成績の確認など、様々な情報がネットワークを経由して提供されるばかりでなく、レポート提出を PC から行う授業も多くあります。

そのため、本学では、個人用 PC（ノート型）が必携となっています。本学に入学の際は、PC を準備・購入していただくことになりますので、あらかじめお知らせします。

詳細については、今後、本学 Web サイトにてお知らせするとともに、合格者向け入学手続案内の「入学ガイドブック」に記載します。学部・学科によって PC の推奨スペック（必要な性能）が異なります

ので、各学部・学科の該当する項を必ずご確認ください。

本学の学生には「Microsoft 365」(Word, Excel, PowerPoint 等)を在学中に限り大学が無償で提供しますので、これらを個別に購入、あるいは、PC とセットで購入する必要はありません。なお、これらのソフトウェアがあらかじめ入っていても支障はありません。おって、授業で円滑に学べるように、PC の環境を整えるための PC 設定作業についての案内をします。

問い合わせ先

【個人用 PC のスペックに関すること】

学務部教務課教務・学務情報係

E-mail : gapjoho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【Microsoft 365 に関すること】

情報統括本部 情報共有基盤事業室

E-mail:ms365@iii.kyushu-u.ac.jp

1 2. 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「九州大学個人情報管理規程」等学内の関係規定に基づいて取り扱います。

1. 出願時に取得した氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討や大学教育の改善及び大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）のために利用します。
3. 上記 1 及び 2 の各種業務での利用に当たっては、全部又は一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報及び試験成績の全部又は一部を提供します。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

※本学のプライバシーポリシーについては以下の URL を参照ください。

【日本語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/website/privacypolicy>

【英語】

<https://www.kyushu-u.ac.jp/en/website/privacypolicy>

13. 修学場所について

1 年次は主に伊都キャンパスで基幹教育の授業を受けます。2 年次以降の各学部の授業の主たる修学場所は、各学部所在地となります。

学部授業の主たる修学場所

令和 8（2026）年 7 月現在

学部（学科）	実施時期	1 年次 （令和 9（2027）年度）	2 年次 （令和 10（2028）年度）	3 年次以降 （令和 11（2029）年度～）
共創・文・教・法・経・理・ 工（融合基礎工学科を除く）・農		伊都キャンパス		
工（融合基礎工学科）		伊都キャンパス		筑紫キャンパス
医・歯・薬		伊都キャンパス※	病院キャンパス	
芸工		伊都キャンパス	大橋キャンパス	

※歯学部は、前期及び後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

※薬学部は、後期の学期において、週に 1 回、病院キャンパスで授業が実施されます。

VI 入学案内・入学相談・九州大学 Web サイト

九州大学では、受験者に本学の学部・学科の内容や入学者選抜方法をよく知っていただくために、アドミッションセンターを中心にして、次のような入学案内や入学相談を行います。

○ 電話による入学案内・入学相談

随時行います。九州大学学務部入試課入試企画・広報係へお問い合わせください。

問い合わせ先

九州大学学務部入試課入試企画・広報係

住 所：〒819-0395 福岡市西区元岡 744

T E L：092-802-2006, 2007

F A X：092-802-2008

E-mail：nyukikaku@jimui.kyushu-u.ac.jp

○ Web サイト

- | | |
|---------------|---|
| ・九州大学 Web サイト | https://www.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・共創学部 Web サイト | https://kyoso.kyushu-u.ac.jp/ |
| ・教育学部 Web サイト | https://www.education.kyushu-u.ac.jp/ |

令和8年度 九州大学総合型選抜、学校推薦型選抜及び国際入試実施状況

	学部・学科等	募集 人員	志願者	受験者 ※1	合 格 者					志願者 女子数	合格者 女子数	合格者 男子比 ※3	合格者 女子比 ※3	入学者
					人数	倍率 ※2	県内	県外	その他					
総合 型選 抜	共創学部	15	77	30	14	5.50	6	8	0	50	10	28.6	71.4	14
	文学部	10	15	15	10	1.50	5	5	0	10	8	20.0	80.0	10
	教育学部	7	26	16	7	3.71	4	3	0	19	6	14.3	85.7	7
	法学部	10	28	16	10	2.80	4	6	0	21	8	20.0	80.0	10
	経済学部	22	46	28	13	3.54	7	6	0	25	8	38.5	61.5	13
	理学部	34	123	112	34	3.62	9	25	0	47	12	64.7	35.3	34
	物理学科	7	21	20	7	3.00	1	6	0	5	2	71.4	28.6	7
	化学科	8	29	24	8	3.63	3	5	0	16	5	37.5	62.5	8
	地球惑星科学科	7	27	26	7	3.86	2	5	0	13	2	71.4	28.6	7
	数学科	7	23	22	7	3.29	2	5	0	1	0	100.0	0.0	7
	生物学科	5	23	20	5	4.60	1	4	0	12	3	40.0	60.0	5
	医学部・保健学科	22	78	54	18	4.33	11	7	0	68	16	11.1	88.9	18
	看護学専攻	10	50	29	10	5.00	6	4	0	47	9	10.0	90.0	10
	放射線技術科学専攻	6	21	19	6	3.50	4	2	0	14	5	16.7	83.3	6
	検査技術科学専攻	6	7	6	2	3.50	1	1	0	7	2	0.0	100.0	2
	歯学部	8	23	23	9	2.56	2	7	0	15	6	33.3	66.7	9
	工学部	47	113	87	39	2.90	17	22	0	35	11	71.8	28.2	39
	電気情報工学科	8	16	13	8	2.00	5	3	0	1	0	100.0	0.0	8
	材料工学科	3	8	7	3	2.67	1	2	0	4	2	33.3	66.7	3
	応用化学科	4	6	5	2	3.00	0	2	0	4	2	0.0	100.0	2
	化学工学科	2	7	7	2	3.50	2	0	0	4	2	0.0	100.0	2
	融合基礎工学科 物質材料コース	2	1	1	1	1.00	0	1	0	0	0	100.0	0.0	1
	融合基礎工学科 機械電気コース	2	4	4	2	2.00	1	1	0	1	0	100.0	0.0	2
	機械工学科	7	25	12	4	6.25	2	2	0	2	1	75.0	25.0	4
	量子物理工学科	2	3	3	2	1.50	2	0	0	0	0	100.0	0.0	2
	船舶海洋工学科	5	8	7	5	1.60	1	4	0	0	0	100.0	0.0	5
	地球資源システム工学科	2	1	1	0	—	0	0	0	1	0	—	—	0
	土木工学科	4	12	12	4	3.00	0	4	0	4	1	75.0	25.0	4
	建築学科	6	22	15	6	3.67	3	3	0	14	3	50.0	50.0	6
	芸術工学部・芸術工学科	55	166	141	54	3.07	29	25	0	93	31	42.6	57.4	53
	環境設計コース	7	22	21	7	3.14	5	2	0	14	4	42.9	57.1	7
	インダストリアルデザインコース	16	33	33	16	2.06	7	9	0	23	11	31.3	68.8	16
	未来構想デザインコース	5	4	4	4	1.00	3	1	0	3	3	25.0	75.0	4
	メディアデザインコース	22	72	63	22	3.27	13	9	0	43	12	45.5	54.5	21
	音響設計コース	5	35	20	5	7.00	1	4	0	10	1	80.0	20.0	5
	農学部	24	107	60	24	4.46	5	19	0	60	13	45.8	54.2	23
	小計	254	802	582	232	3.46	99	133	0	443	129	44.4	55.6	230
推薦	共創学部	15	30	30	15	2.00	5	10	0	22	12	20.0	80.0	15
	文学部	10	21	21	10	2.10	4	6	0	15	8	20.0	80.0	10
	歯学部	8	30	27	6	5.00	4	2	0	15	4	33.3	66.7	6
	芸術工学部・芸術工学科	13	43	35	13	3.31	3	10	0	29	8	38.5	61.5	13
	インダストリアルデザインコース	8	32	24	8	4.00	2	6	0	20	4	50.0	50.0	8
	未来構想デザインコース	5	11	11	5	2.20	1	4	0	9	4	20.0	80.0	5
	小計	46	124	92	44	2.82	16	28	0	81	32	27.3	72.7	44
国際	教育学部	3	5	4	0	—	—	—	—	2	—	—	—	—
	合計(総合+推薦+国際)	303	931	699	276	3.37	115	161	0	526	161	41.7	58.3	274

※1 受験者数は、第2次選抜の受験者である

※2 倍率については、小数点以下第3位を四捨五入

※3 合格者の男女比については、小数点以下第2位を四捨五入

添 付 書 類

次のページから以下の書類が添付してあります。

○志望理由書・活動歴報告書 2 ページ（表・裏）

- ※ 本様式を手書きで作成し、出願期間内に必着するよう郵送してください。
- ※ 必ず**令和 9 (2027) 年度**の様式を使用してください。
- ※ 所定の様式を変更することはできません。（行の追加や用紙の追加等）
- ※ 摩擦等で消えるボールペンは使用できません。
- ※ 提出の際は、用紙（裏・表 2 ページ）を両面印刷してください。
- ※ 志願者以外の者（生成系 AI ツールを含む）により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を取り消すことがあります。
- ※ 英語能力試験の受験実績のある者は、志望理由書・活動歴報告書の添付資料として、英語能力試験（実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限る）、TEAP（4 技能）、ケンブリッジ英語検定（リンガスキルは除く）等）の成績（願書受付期間の最終日より過去 2 年以内に受験したものの原本）を提出してください。 ※自宅
で受験するタイプの英語能力試験の成績の提出は認めません。また、IELTS の One Skill Retake の提出は認めません。

令和 9（2027）年度 九州大学共創学部
総合型選抜

志望理由書・活動歴報告書

2026 年 月 日記入

フリガナ

志願者氏名

1. 共創学部に①入学を希望する理由及び②入学後にどのような課題に対してどのように取り組みたいかを記述してください。

5

10

15

20

志願者自ら作成・記入してください（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）。

（表）

25

30

35

2 . 高等学校の間に取り組んだ学業以外の各種活動（課外活動や学校行事での活動等）のうち，共創学部
の志望理由や入学後の学びに関わるものを記述してください。活動が多数の場合は，関わりの深い
ものを厳選してください。

時 期	活 動 内 容

志願者自ら作成・記入してください（鉛筆使用可，摩擦等で消えるボールペン使用不可）。

（裏）

[共創学部]